

Paperpileを使った文献管理方法

Mendeley Desktopが使えなくなっちゃったねっていう話

無料の文献管理ツールとして非常に有用であったMendeley Desktopが今年の8月で新規ダウンロード停止になりました。それまでにダウンロード・インストールしていた場合は継続使用可能とのことですが、実質Mendeley Desktopのサービス終了です。後継版としてMendeley Reference Managerというソフトが発表されましたが、なんというか使い勝手は良くも悪くもないです。そこで、かねてより噂を聞いていた有料ソフトPaperpileを試用してみたところ、Paperpileの便利さ、優秀さに鼻血が出ました。今なら「100点満点中、100億点！！！」というなんと返して良いのか分からないボケを言ってくる人の気持ちが分かります。Paperpileは100億点です。今後、僕は所属機関がどこであれ文献管理ソフトとは長い付き合いになるはずなので、ついに僕は文献管理ソフトに課金することを決意しました。

まず先にお伝えしておくと、文献管理する上でPaperpileはとても便利なのですが、有料(2.99\$/月)です。本日(2022.09.11)の為替レートでは1ヶ月あたり約430円(値上げ前のうまい棒だと43本分、値上げ後のうまい棒だと35本分)です。めちゃくちゃ高くもないけれど、安いと感じる金額でもないですね。正直な話、学部や修士課程の学生に「絶対使った方がいいって！ほら！」という風におすすめできるかという微妙な感じですが、ただ、めちゃくちゃ便利なのも事実なので、Paperpileの存在をちょっとだけ頭の隅に置いていても良いかもしれません。とりあえずPaperpileの概要や使用方法について書いておきます。

1ヶ月の試用期間があるので、それを使って課金を考えるのもあります。なんなら、卒論・修論作成が軌道に乗るまでは無料のMendeley Reference Managerを使用して、最後にPaperpileの試用期間で卒論・修論を完成させる、というのもありかもしれません。

Paperpileとは

PaperpileはGoogle社によって運営されている文献管理ソフトです。文献管理ソフトとして研究者間では大人気であり、現在使用されている文献管理ソフトのシェアの大部分を占めています(根拠はありませんが僕がそう感じています)。使用する際はGoogleアカウントに紐付けする形で使用するの、基本的にはGoogleアカウントがあれば使用できます。1ヶ月使用してみて感じたPaperpileのメリットとデメリットを以下に書いておきます。

メリット

- ・Google Chrome上で完結するのでソフトのインストール等が必要ない。

導入の手間がないのはとても楽です。

- ・Googleアカウントにログインさえすれば、いつでもどこでも登録した論文が読める。

パソコンでもスマホでもタブレットでも、いつでもどこでも読めます。

・Google Scholarからの文献の読み込み(登録)がワンクリックで済む。

検索結果の横に登録ボタンがあり、それをクリックするだけです。登録した論文には登録マークがつくので「あれ？この論文
読んだっけ(登録したっけ)？」みたいなことがなくなります。

・自動で登録された文献情報に間違いが(ほぼ100%)ない。

Mendeleyでは「なんで！こんなに！違うの！」と叫びたくなることがありますが、PaperpileはGoogleのメタ情報をもとに
登録してくれるのでほぼ間違いはないです。

デメリット

・有料である。

月額約430円(2.99\$)がかかります。個人的には、試用期間で「これはっ！いいっ！」となったので課金することにしました。

良いサービスにお金を払うのは紳士淑女の嗜みです。

・ネット環境が必須である。

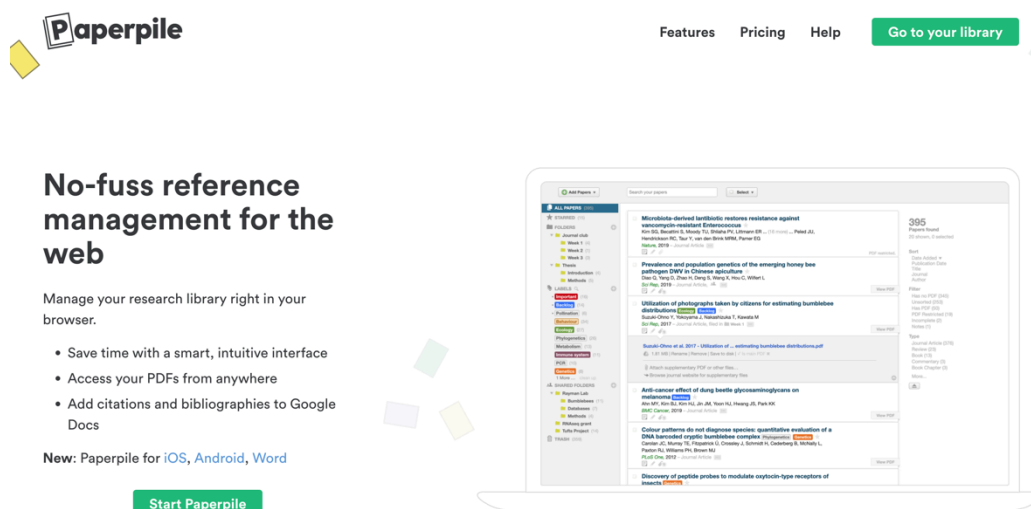
基本的にオンラインで使うことが前提なのでネット環境が必須です。ただ、これに関しては今は犬も歩けばWi-Fiに当たる
くらいにWi-Fiもありますし、Wi-Fiがなくてもスマホのテザリングでなんとかなることが多いかなと思います。

・使用できるブラウザが限定される。

今のところ、基本的にはChrome、Edge、Chromium、Brave、Vivaldiでの使用に制限されています。使用ブラウザにこだわり
のある方はここが少し気になるかもしれません。ただ、公式ホームページに「今後はSafariやFirefoxでも使えるようにしてい
く」と書かれているので、今後使用できるブラウザは増えそうです。

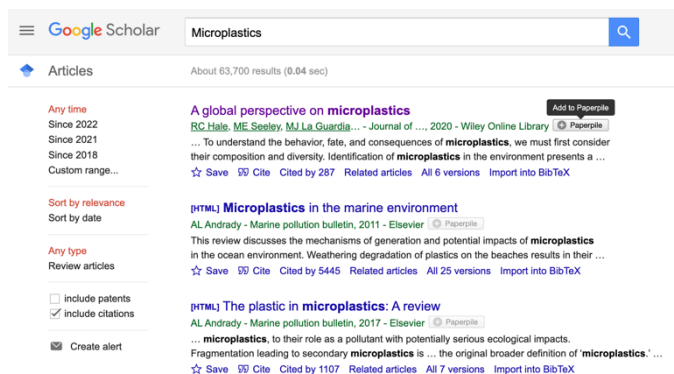
Paperpileへの登録

Paperpileの公式ホームページ(<https://paperpile.com/?welcome>)に入って「Start Paperpile(下スク
ショの左下)」をクリックするだけです。登録時にChromeプラグインのインストールを進められますが、こ
れは絶対インストールした方が良いです(Google Scholarからの文献登録などがとても楽になります)。

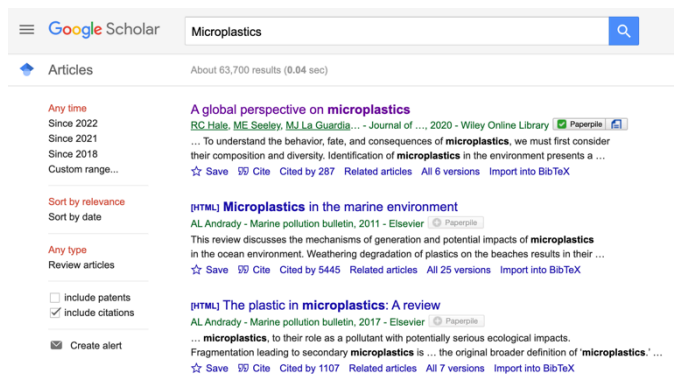


論文の読み込み(登録)

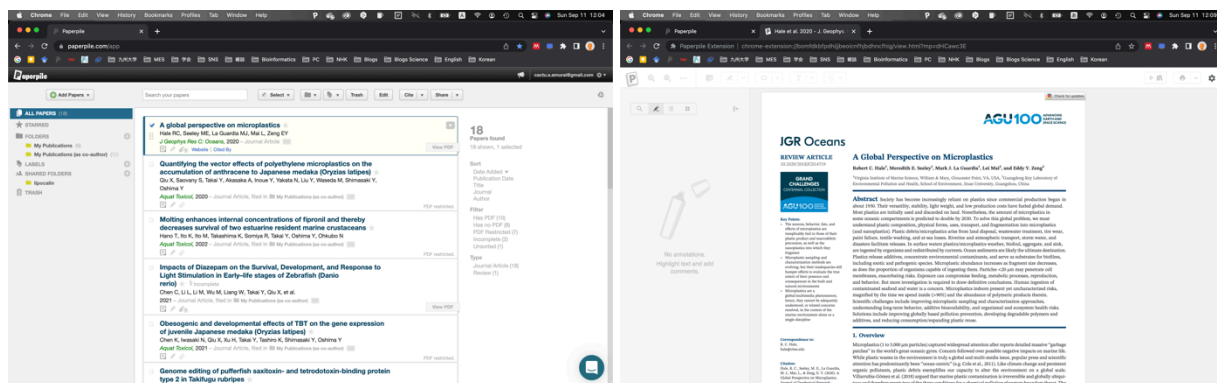
1. Google Scholarで論文を検索して良さそうだなと思った論文の「+Paperpile」ボタンをクリックします。



2. ボタンが緑色の「Paperpile」になったら読み込み完了です。



3. Paperpileの「View PDF」をクリックするとPaperpile上で論文を読むことができます。

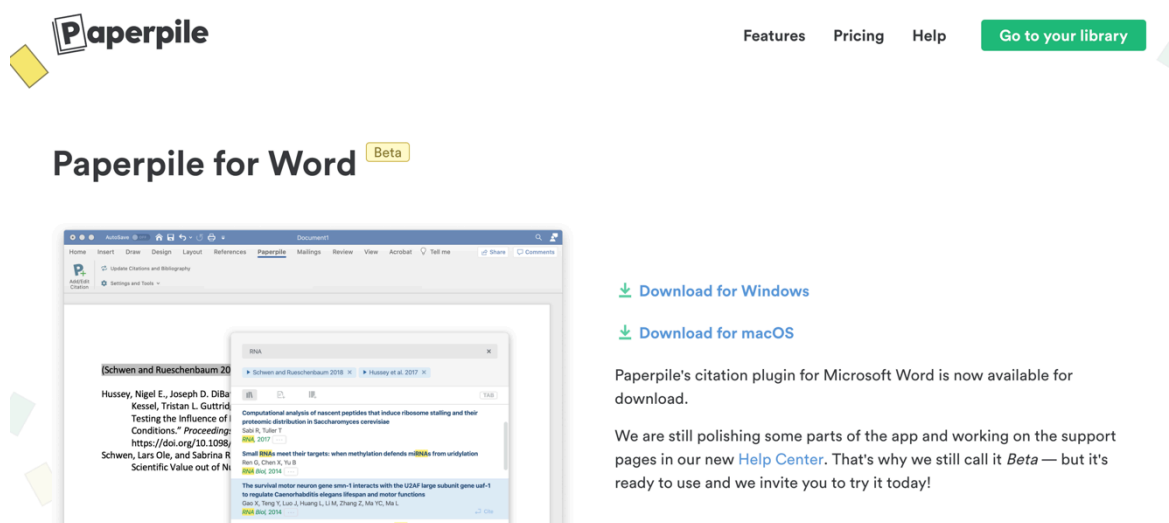


* 雑誌によっては九大のネット経由じゃないと論文PDFがダウンロードできなかったりしますが、その場合はPaperpileでの表記が「PDF restricted」というものになります。この場合はダウンロードできる環境になった際に「PDF restricted」をクリックし、「Add PDF」をクリックすることでPDFをダウンロードできます。

ワードプラグインのインストール

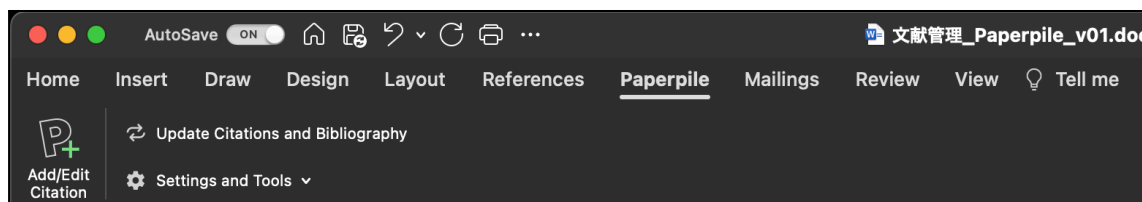
卒論、修論を書く際にはワードを使用して書くと思いますが、その際にPaperpileのワードプラグインを入れておくと参考文献リストの管理がとても楽になります。というよりも、Paperpile入れてワードプラグインを入れないっていうのは「何のためにPaperpileに課金してんの？」という話ですので、必ず入れましょう。

とりあえず「Paperpile word」でぐぐってPaperpileのワードプラグインのダウンロードページ(<https://paperpile.com/word-plugin/>)に行きます。そして自分のOSにあったインストーラをダウンロードしてインストールします。インストールはぼちぼちやっていけばできます。

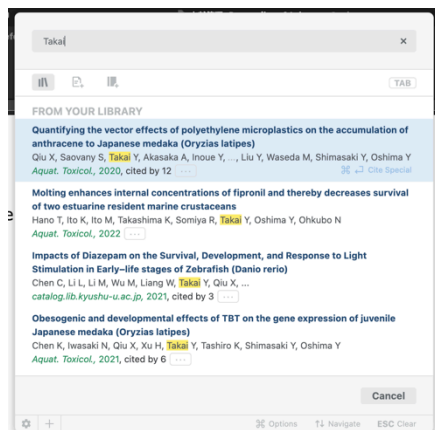


参考文献リストの作り方

1. ワードプラグインがきちんとインストールされているとワードにPaperpileタブができます。
2. 参考文献を挿入したい場所にカーソルを合わせてPaperpileタブの「Add/Edit Citation」をクリックします。



3. 参考文献を検索・決定すると、参考文献がカーソルの位置に挿入され、参考文献リストも作成されます。



こんな感じになります。

This is a pen (Takai et al. 2022).
Takai, Yuki, Hideaki Tokusumi, Moeko Sato, Daishi Inoue, Kun Chen, Takumi Takamura, Shintaro Enoki, et al. 2022. "Combined Effect of Diazepam and Polystyrene Microplastics on the Social Behavior of Medaka (Oryzias Latipes)." *Chemosphere* 299 (July): 134403.

参考文献リストのフォーマット変更

Paperpileタブの「Settings and Tools」で参考文献リストや引用方法の体裁を変更することができます。また、参考文献リストの位置を調整「Move bibliography here」したり、ワードファイルからPaperpileの記述コードを削除「Remove Citation codes」したりすることもできます（論文投稿時にこの作業が求められることがあります）。他にもいろいろできるので、気になる方はぐぐってみてください。

